

# 時事新報

政府と自由黨との結托は必ずしも責任内閣の端緒に非ず。現政府が自由黨を率ひて議會に反對黨と争ひ案外失敗するふとあるも我内閣は獨り天皇に對して責任あるのみにして國民多數の向背如何に依て進退す可きものに非ずとの口實を以て無理に其地位を固守し或は自由黨と結托せしものは伊藤總理のみにして政府全體の非ざれども斯くの如きは則ち自然の勢に逆るものに知る所に非ずとて事面倒となれば總理一人辭職して其跡に矢張薩長の超然内閣を組織するふとも出来難きに由黨と結托せしものは伊藤總理のみにして政府全體の知る所に非ずとて事面倒となれば總理一人辭職して其跡に矢張薩長の超然内閣を組織するふとも出来難きに由黨と結托せしものは伊藤總理のみにして政府全體の

して國民の覆審を求むるも可なれども重ねて敗北し  
衆望の己れに歸せざるを發明しなば  
國に政權を他  
譲りて時局の到来を待ち以て政機の運轉を滑にせ  
みと我輩の切望する所にして當局者が自由黨と結托  
たるの眞意も亦此に存するみと信するなり

今般帝國政府より其軍艦に向ひて發する所の訓令を以て同様の出來事を再出せしめざるみどりすべし因て帝國政府は本件に附き懲り其注意を惹れたるを深謝すると同時に大不列顛國皇帝陛下の政府に於て帝國政府より與ふる所の辨明と補償とを以て満足せらるんふとを敢て冀望す

官 告 示 報  
大蔵省告示第百四號  
一軍事公債額面六萬圓  
但發行價格證書額面百圓ニ付金百二圓六十錢  
右明治二十八年大蔵省令第三號ニ據リ本月九日之ヲ發行セリ  
明治二十八年十二月十日  
大蔵大臣子爵波達國武

○世界第一の快走水雷艇破壊艦　英國ヤーロ  
ド造船會社に於て製造中なりし露國の水雷艇破壊艦ソ  
コルの構造等に就ては嘗て本紙に記載する所ありしが  
同艦は過日全く落成し試運轉を爲せしに二十六海里四  
分の三の速力にて五時間ほどテームス河を往復したり  
但し此時の氣壓は漸く半時にして尙ほ之を増せば一時  
間三十二海里を走るを得る由にて蓋し世界第一の速力  
ならんと云ふ二年前に在りては速力二十六海里を越え  
て帝國政府は本件に附き總に其注意を惹れたるを深  
謝すると同時に大不列顛國皇帝陛下の政府に於て帝  
國政府より與ふる所の辯明と補償とを以て満足せら  
れんふとを敢て望す

大蔵省告示第百四號參照  
大蔵省令第三號(明治二十八年十月四日)  
明治二十七年法律第二十五號ニ據リ明治十九年勅令第六十六號整理公債  
償還例第六條第二項ノ方法ヲ以テ認義額而一千萬圓ヲ限リ猶次支拂事  
償還書フ發行ス  
此公債利子ヘ一周年百分ノ五トス  
此公債償還利子仕拂其他ノ取扱ハ明治十九年勅令第六十六號整理公債  
條例ノ規定ニ準據スヘン

○世界第一の快走水雷艇破壊艦　英國ヤーロ  
造船會社に於て製造中なりし露國の水雷艇破壊艦ソ  
コルの構造等に就ては嘗て本紙に記載する所ありしが  
同艦は過日全く落成し試運轉を爲せしに二十六海里四  
分の三の速力にて五時間ほどテームス河を往復したり  
但し此時の氣壓は漸く半時にして尙ほ之を増せば一時  
間三十二海里<sup>ノット</sup>を走るを得る由にて蓋し世界第一の速力  
ならんと云ふ二年前に在りては速力二十六海里を超え  
ざりしに今やソコルの三十海里四分のーを走りしに依  
て見れば將來の進歩は圖る可からず此試運轉の際に招  
待されしものゝ中には日本の海軍將校も在りて一同そ  
の迅速なるを驚嘆したりとなり  
○亞非利加遠征　英國のサー・カンニンゲハム・ス  
コット大佐は遠征隊を率ゐて亞非利加アシアンチーに  
行きクーマツーレー(アシアンチーの首府)王を攻撃せ  
んとし又ケムブスター大佐はスコット大佐の副官に任  
て帝國政府より其軍艦に向ひて發する所の訓令を  
以て同様の出來事を再出せしめざるふどゝすべし因  
謝すると同時に大不列顛國皇帝陛下の政府に於て帝  
國政府より與ふる所の辨明と補償とを以て満足せら  
れんふどを敢て裏匿す

本年十月二十日臺灣より廈門へ進航中の英國汽船スコットランド號を帝國軍艦八重山にて搜査抑留せし事に關じて左記二種の書類提出に附き西園寺外務大臣臨時代理より左記乙號の口上書を同公使へ交付せりと記して昨日の官報に掲げある彼の口上書を見るに左の如し

○世界第一の快走水雷艇破壊艦　英國ヤーロ  
ド造船會社に於て製造中なりし露國の水雷艇破壊艦ソ  
コルの構造等に就ては嘗て本紙に記載する所ありしが  
同艦は過日全く落成し試運轉を爲せしに二十六海里四  
分の三の速力にて五時間ほどでテームス河を往復したり  
但し此時の氣壓は漸く半時にして尙ほ之を増せば一時  
間三十二海里を走るを得る由にて蓋し世界第一の速力  
ならんと云ふ二年前に在りては速力二十六海里を越え  
ざりしに今やソコルの三十海里四分の一を走りしに依  
て見れば將來の進歩は圖る可からず此試運轉の際には招  
待されしものゝ中には日本の海軍將校も在りて一同を  
の迅速なるを驚嘆したりとなり

○亞非利加遠征　英國のサー・カンニンガム・ハム・ス  
コット大佐は遠征隊を率ゐて亞非利加・ア・シアンチーに  
行きクーマツーレー(ア・シアンチーの首府)王を攻撃せ  
んとし又ケムブスター大佐はスコット大佐の副官に任  
ぜられたり尙ほピーオー・オーカー汽船會社のマニラ號は右の  
遠征隊を運搬する爲め英國政府に雇入れられしと云ふ  
の迅速なるを驚嘆したりとなり

○臺灣府の民政支部　臺灣總督府にては臺灣彰化、  
化等の鎮定後該地方の民政支部を彰化へ設置せしが同  
地は何分衛生上よりするも到底永く一都府を開くべき  
土地柄に非ざるを以て今度又臺灣府の方へ引移したる  
よし尤も同府は府とは云へど眞に名義のみにて暗外  
廊位を設けあるに止まり未だ市街を形造るに至らざる

乗せ十月二十日臺灣を出帆せしか翌朝未明に廈門に到着するふと十五海里的處に於て日本國巡洋艦八重山のため其進航を停められたり而して該艦長は搜檢のため其船員を該汽船に派遣し七名の乗組者を汽船より連行くふとを望みたるが船長は之に對し抗議を出されたり是に於て該艦長は二名の士官を乗船せしむるふとを主張し十時間乃至十二時間該船を拘留したる後其請求する所の者共を拘留して廈門管轄の日本領事の指圖に従はしむべき條件を以て該汽船の廈門へ航行するふとを許せり

○世界第一の快走水雷艇破壊艦　英國ヤーロード造船會社に於て製造中なりし露國の水雷艇破壊艦ノコルの構造等に就ては嘗て本紙に記載する所ありしが同艦は過日全く落成し試運轉を爲せしに二十六海里四分の三の速力にて五時間没テームス河を往復したり但し此時の氣壓は漸く半時にして尙ほ之を増せば一時間三十二海里を走るを得る由にて蓋し世界第一の速力ならんと云ふ二年前に在りては速力二十六海里を想えさりしに今やノコルの三十海里四分の一を走りしに依て見れば將來の進歩は圖る可からず此試運轉の際に招待されしものゝ中には日本の海軍將校も在りて一同ぞの迅速なるを驚嘆したりとなり

○亞非利加遠征　英國のサー・カンニングハム・スコット大佐は遠征隊を率ゐて亞非利加アシアンチーに行きクーマツーシー(アシアンチーの首府)王を攻撃せがんとし又ケムブスター大佐はスコット大佐の副官に任せられたり尙ほビーオー・エーブル船會社のマニラ號は右の遠征隊を運搬する爲め英國政府に雇入れられしと云ふの迅速なるを驚嘆したりとなり

○臺灣府の民政支部　臺灣總督府にては臺灣彰化等の鎮定後該地方の民政支部を彰化へ設置せしが同地は何分衛生上よりするも到底永く一都府を開くべく土地柄に非ざるを以て今度又臺灣府の方へ引移したるよし尤も同府は府とは云へど眞に名義のみにて暗外廊位を設けるに止まり未だ市街を形成するに至らずして到底彰化の繁盛と比すべくに非ざる地勢其他萬般の事に至るまで將來頗る有望なるを以て斯くは移転して斯くは移転して行政事務を執り前記五箇所并に臺灣、彰化の兩地へは警察署をも設置しある所并に臺灣、彰化の兩地へは警察署をも設置しある

○四國幹線鐵道私設の計畫　一昨年來四國地方有志者間の大問題たりし四國幹線鐵道第一期線上出張所即ち支廳を配置して行政事務を執り前記五箇所並に臺灣、彰化の兩地へは警察署をも設置しある

請求する所の者共を同領事へ引渡されたしとの事を  
要求し右引渡済の上にて右の者共を釋放せり  
今や大不列顛國皇帝陛下の公使は本國政府より日本國  
軍艦が太洋に於て英國船の進行を停め且つ之を犯  
檢抑留したる事に附き如何なる辯明を與へらるべ  
や日本國政府に向ひて質問すべしとの訓令に接せ  
千八百九十五年十月二十四日 東京に於て

○世界第一の快走水雷艇破壊艦 英國ヤーロド造船會社に於て製造中なりし露國の水雷艇破壊艦ソコルの構造等に就ては嘗て本紙に記載する所ありしが同艦は過日全く落成し試運轉を爲せしに二十六海里四分の三の速力にて五時間没セテームス河を往復したり但し此時の氣壓は漸く半時にして尙ほ之を増せば一時三十二海里を走るを得る由にて蓋し世界第一の速力ならんと云ふ二年前に在りては日本海軍將校も在りて一同を待されしものゝ中には日本の海軍將校も在りて一同の迅速なる驚嘆したりとなり

○亞非利加遠征 英國のサー・カンニンガハム・スコット大佐は遠征隊を率ひて亞非利加アシアンチーに行きクーマツーレー(アシアンチーの首府)王を攻撃せんとし又ケムブスター大佐はスコット大佐の副官に任せられたり尙ほヒー・オーエー・汽船會社のマニラ號は右の遠征隊を運搬する爲め英國政府に雇入れられしと云く

○臺灣府の民政支部 臺灣總督府にては臺灣彰化等の鎮定後該地方の民政支部を彰化へ設置せしが同地は何分衛生上よりするも到底永く一都府を開くべき土地柄に非ざるを以て今度又臺灣府の方へ引移したまよし尤も同府は府とは云へど眞に名義のみにて暗外廓位を設けあるに止まり未だ市街を形成するに至らず般の事に至るまで將來頗る有望なるを以て斯くは移して到底彰化の繁盛と比すべくに非ざれど地勢其他萬出張所即ち支廳を配置して行政事務を執り前記五箇所並に臺灣、彰化の兩地へは警察署とも設置しあるとして苗栗、埔里社、雲林、嘉義、鹿港の五箇所へ民政部長にして苗栗、埔里社、雲林、嘉義、鹿港の五箇所へ民政部長として大阪神戸の有力者にも協議せしに孰れも大に賛成るものゝ如くなるが香川縣にても亦此頃に至り大に賛成に熱中し今回斷然私設株式會社の組織となさんと依り此際是非共此計畫を成就せしめんと頻に奔

明治二十八年十一月六日 東京に於て  
一般帝國政府より其軍艦に向ひて發する所の訓令を以て同様の出來事を再出せしめざるふとすべし因て帝國政府は本件に附き懇に其注意を惹れたるを深謝すると共に大不列顛國皇帝陛下の政府に於て帝國政府より與ふる所の辯明と補償とを以て満足せらるんふとを敢て冀望す

帝國政府は帝國軍艦ノ「青山」が英國船ノ「コロナ」を撃沈抑留したる事に關し去月二十四日大不列顛國帝陛下の公使閣下より提出せられたる口上書に對ては深く熟慮を加ふるふとを怠らざりき  
右出來事に關する事情に附き未だ充分の報告之な  
ど雖も帝國政府をして該出來事は大洋に於て起り  
る事及び當時スエレス號は臺灣より清國屬國に向  
て航海中なりしどの事を認定するを得しむるだけ  
事實は充分相分り居れり  
現に接受したる簡短の報告に依り察するときは帝  
政府に於ては前記の苦情を招きたる處置は訓令の  
解に出でたるの結果なりと信用せざると得ず然れ  
ど當時の事情如何は全く指さて之を論ぜず取敢へ  
る損害に對しては充分の補償を與ふべし  
帝國政府に於ては該處置は全く國際公法の許さ  
所なる旨を茲に承認す因て帝國政府に於ては該出  
事の起りたるを深く遺憾と爲シスエレス號の受け  
る損害に對しては充分の補償を與ふべし

○世界第一の快走水雷艇破壊艦 英國ヤーロド造船會社に於て製造中なりし露國の水雷艇破壊艦ソルの構造等に就ては嘗て本紙に記載する所ありしが同艦は過日全く落成し試運轉を爲せしに二十六海里四分の三の速力にて五時間ほどテームス河を往復したり但し此時の氣壓は漸く半時にして尚ほ之を増せば一時さりしに今やソルの三十海里四分の一を走りしに依て見れば將來の進歩は圖る可からず此試運轉の際には招待されしものゝ中には日本の海軍將校も在りて一同をの迅速なるを驚嘆したりとなり

○亞非利加遠征 英國のサー・カニニングハム、スコット大佐は遠征隊を率ゐて亞非利加アシアンチーに行きクーマツーサー(アシアンチーの首府)王を攻撃せしとぞし又ケムブスター大佐はスコット大佐の副官に任せられたり尙ほヒー・オー・汽船會社のマニラ號は右の遠征隊を運搬する爲め英國政府に雇入れられしと云ふの迅速なるを驚嘆したりとなり

○臺灣府の民政支部 臺灣總督府にては臺灣彰化等の鎮定後該地方の民政支部を彰化へ設置せしが同方有志者間の大問題たりし四國幹線鐵道第一期線工地上は何分衛生上よりするも到底永く一都府を開くべき請願の件に就き德陽縣の有志者は一日も早く德陽高舉に熱中し今回斷然私設株式會社の組織となさんと間に線路を敷設せんとて運動今日に至るも毫も怠らざるものゝ如くなるが香川縣にても亦此項に至り大に騒動にあつたが、徳陽高舉にて大阪神戸の有力者にも協議せしに孰れも大に警戒を表し同地方にて株式を引受けんとするもの甚だ多く依り此際是非共此計畫を成就せしめんとて頻に奔走するものゝよし其線路は先づ琴平より起工し德陽縣池田町及ばし尋で高知に到らしめん目的なりと云ふ

○宇品港の買上と江波港 宇品港は今後永陸軍に必要な港まるを以て軍用港として其筋に奔走するべしとの説もあり果して事實なれば廣島の商人は既に廣島商業會議所にては去る五日人と同港に派當地に就き調査せしめたりと

○清國の米作及輸出入高 に關じ上海の我寧より其筋の問合に對し回答し來りたる米作及びそ相場輸出入高等は左の如くなりといふ